

1. 耐圧防爆構造

耐圧防爆構造とは、全閉構造であって、ガス又は蒸気が容器の内部に侵入して爆発を生じた場合に、該当容器が爆発圧力に耐え、且つ、爆発による火炎が当該容器の外部のガス又は蒸気に点火しないようにしたものをいう。

2. 内圧防爆構造

内圧防爆構造とは、容器の内部に空気、窒素、炭酸ガス等の保護ガスを送入することにより、当該容器の内部にガス又は蒸気が侵入しないようにした構造のことをいう。

3. 安全増防爆構造

安全増防爆構造とは、電気機械器具を構成する部分（電気を通じない部分を除く）であって、当該電気機械器具が正常に運転され、又は通電されている場合に、火花若しくはアークを発生せず、又は高温となって点火源となる恐れがないものについて、絶縁性能並びに温度の上昇による危険及び外部から損傷等に対する安全性を高めた構造をいう。

4. 油入防爆構造

油入防爆構造とは、電気機械器具を構成する部分であって、火花若しくはアークを発生し、又は高温となって点火源となる恐れがあるものを絶縁油の中に納めることにより、ガス又は蒸気に点火する恐れがないことが点火試験によって確認された構造をいう。

5. 本質安全防爆構造

本質安全防爆構造とは、電気機械機器を構成する部分の火花、アーク又は熱が、ガス又は蒸気に点火する恐れがないことが点火試験により確認された構造をいう。

